

1-11 森 林 整 備

枝幸町私有林等整備事業 枝幸町林業担い手総合対策事業

枝幸町

- 枝幸町は、道内でも有数の私有林面積を有し、森林経営計画認定率（86%）も高率であることから、計画的に森林整備を推進する予算を持続的・安定的に確保する必要がある。このため、令和元年度に「枝幸町私有林等整備事業」を創設し、従来の公共補助事業とあわせて森林整備を推進。
- 令和2年度は、森林整備の効率化・就労環境の改善等に必要な林業機械等の導入を支援するため、「枝幸町林業機械等導入支援事業」を創設し、税導入の目的である森林整備を更に推進。



間伐事業の実施状況



間伐事業（運材）実施状況



竣工検査実施状況

枝幸町の取組：

間伐等の森林整備への支援

事業内容

従来の公共補助事業と同様に「間伐・保育
間伐・除伐・枝打ち等」の森林整備を支援。

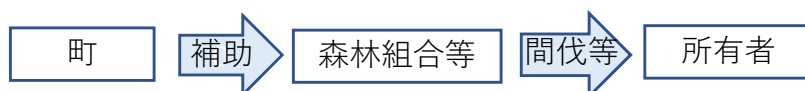
事業費

25,488千円(全額譲与税)

実績

間伐：84ha
保育間伐：37ha
計：121ha

スキーム



枝幸町の取組：

担い手確保及び就労環境の改善等

事業内容

森林整備を計画的・安定的に推進するため、
その担い手である「林業従事者の確保、就労
環境の改善、長期就労化」を目的とした総合
的な事業を実施。

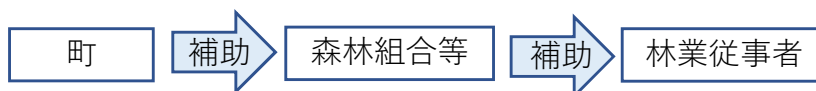
事業費

2,062千円(全額譲与税)

実績

林業退職金共済等支援事業
724千円 (2事業体)
就労環境改善事業
1,338千円 (2事業体・14名)

スキーム



工夫・留意した点

- 補助申請スケジュールを弾力的に設定することができる。
- 冬期施工による林業従事者の通年雇用化を促進する。
- 助成内容の検討に関しては、林業事業体及びそこで働く林業従事者からの意見等を参考に事業を構築した。

その他の点

- 令和3年度においては、林業従事者の「担い手対策・長期就労化・就労環境の改善」を柱とした「枝幸町林業担い手総合対策事業」を創設し、森林整備に必要な環境整備を行い、これらの施策を通して、枝幸町林業の全体的な底上げと成長産業化を目指す。

【問い合わせ先】 枝幸町農林課林政グループ／☎01634-8-7662

北見市森林環境保全整備事業

北見市

○北見市では、森林の有する温室効果ガスの吸収や災害防止機能などの多面的機能の持続的な発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、川上から川下に至るまでの各種施策を一体的に実施する方針。



間伐の様子

北見市の取組：

森林経営計画に基づく間伐等の森林施業への助成

事業内容

私有林における森林経営計画に基づく間伐等の森林施業に対する助成。

○事業メニュー

除伐・保育間伐・間伐・枝打ち・鳥獣害防止施設等整備・森林作業道整備

○補助率

北海道が定める標準経費×68%＋加算額

※加算額→除間伐事業：定額加算（一定の林齢の範囲内のみ）

冬季間における除雪加算：定額加算

事業費

17,553千円（全額譲与税）

実績

除伐13.74ha、保育間伐90.68ha、間伐25.55ha、除雪5,800m

スキーム



工夫・留意した点

- 既存の補助事業と本事業の2つの事業による安定的な事業量の確保やさらなる事業推進を図るため、既存事業との公平性やバランスを確保。基本的な制度設計も同様とした。
- 地域課題への対応策として、冬季間の事業実施を支援するため、冬季間の除雪費の定額加算を創設。また、申請期日も事業の進捗に合わせて柔軟に対応することで、通年事業の実施による担い手確保にも資するものとした。

その他の

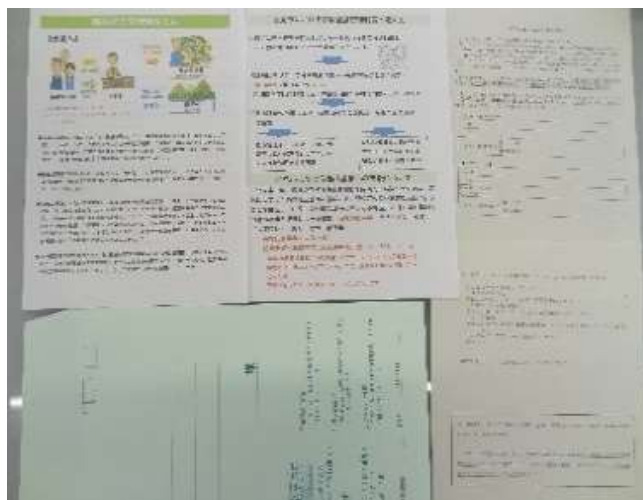
- 川上側の事業として、私有林における森林経営計画に基づく間伐等の森林施業に対する助成制度を令和元年度に創設。既存の国庫補助事業などの補助事業との公平性やバランスを確保し、地域課題にも対応した制度設計とすることにより、安定的な事業量の確保やさらなる事業推進を図り、併せて冬季間の事業実施による林業の担い手確保にも繋げることを目的に実施。
- 令和3年度は本事業により約130haの除間伐事業が実施され、森林の有する多面的機能の発揮に繋がった。また、冬季間において約64haの除間伐事業が実施され、事業の通年化、担い手確保にも寄与することができた。

【問い合わせ先】 北見市農林水産部農林整備課／
☎0157-25-1143

森林経営管理意向調査業務委託

北見市

○北見市では、森林の有する温室効果ガスの吸収や災害防止機能などの多面的機能の持続的な発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、川上から川下に至るまでの各種施策を一体的に実施する方針。



意向調査の資料

北見市の取組：

森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査の実施

事業内容

計画当初、意向調査の対象となる森林は5,606件（林小班数）、5,360haと膨大だったので、間伐が必要と考えられる森林の調査を優先するため更に条件の絞り込みを行い1,068件（林小班数）、1,260.63haまで縮減した。これを令和2年度から3年で意向調査を行う計画とする。また、北見市は4つの自治区に分散しており、3つの自治区については既に地籍調査が終了していることから、地籍調査が完了している部分を優先し意向調査を行う。

絞り込みを行った対象森林について意向調査を行い、既に何らかの方法により森林の経営管理が行われている旨の回答があった森林以外について、森林所有者に森林経営計画の作成を促し、森林経営計画の認定率向上を図る。

事業費

3,329千円（全額譲与税）

実績

送付数96件中55件の回答があった。（令和3年度）

その中で自分が所有する森林の経営管理を他社に委ねる旨を明確に希望する回答は25件、森林面積としては87.82haであり、回答があった面積の約36%程の森林が他者に経営管理を希望していることが分かった。

スキーム



工夫・留意した点

- 優先すべき森林の条件、地区については、事業量が偏りすぎないよう事業者と協議を行いながら決定した。
- 返信率の向上のため、森林経営管理制度についてのパンフレットを同封して調査の意図を理解してもらうとともに、市の封筒を使うことで不信感を払拭するよう努めた。
- 国、道、市で行っている森林整備に対する助成や森林経営計画について資料の中で説明することで森林所有者の理解を深めるとともに負担となっている森林整備についてのハードルを下げるよう努めた。

その他の点

- 北海道の森林経営計画の認定率は7割を超える一方、北見市の森林経営計画の認定率は約45%（市町村有林を含まない）であり、全道の認定率よりも低い状況である。北海道では、所有者から経営管理を委ねる同意を得られた森林については、既に森林経営計画を作成している主体に経営管理を委ね、計画の変更で対応することを基本としていることから、道の考えに基づき森林経営計画の認定率向上による森林整備の推進を図ることを目的に実施。
- 令和2年度から継続して意向調査を実施し、令和3年度においては森林所有者へ382.25ha分の意向調査を行い、245.69ha分の所有者の意向を確認した。
- 令和4年度以降においても引き続き意向調査を行い、森林経営計画の作成を促進し、既存の施策や森林環境譲与税を活用した施策等により森林所有者に対して支援を行っていく。

【問い合わせ先】 北見市農林水産部農林整備課／
☎0157-25-1143

森林経営管理基盤強化事業

紋別市

○紋別市では人工林資源が利用期を迎えるなか、林業労働者の不足が深刻となっており、除間伐や主伐、造林等の施業が思うように進みづらい状況である。こうしたことから林業事業者等では、作業効率化等に向けた設備投資を進めており、その部分に補助を行うことにより、労働者不足への対応や生産性の向上をより一層推進することができる。



フェラーバンチャ



グラップル



クレーン架装運材車

紋別市の取組：

高性能林業機械の導入

事業内容

高性能林業機械の導入

事業費

45,320千円（うち譲与税20,450千円）

実績

フェラーバンチャ1台
グラップル1台

スキーム

市

補助

林業事業者

紋別市の取組：

運材車の導入

事業内容

運材車の導入

事業費

42,900千円（うち譲与税19,500千円）

実績

クレーン架装運材車1台

スキーム

市

補助

林業事業者

工夫・留意した点

○運材車の選定にあたっては、クレーン架装されたものを選択したことにより、1名で山土場から製材工場等まで運材することができる。

その他の

○紋別市には複数の木材加工場や木質バイオマス発電所が立地しており、森林の管理につながる持続的な木材利用に向けた取組が必要となっている。そのため本税を活用し川上から川下までの一体的な取組を助成することにより、地域の課題等に対応しながら森林の多面的な利用に向けて取組を進めることができた。

【問い合わせ先】 紋別市産業部農政林務課／☎0158-24-2111

林業振興事業 地域材利用拡大・森林整備推進事業

釧路市

○釧路市は約10万haの森林面積を有するほか約16万人の人口規模を擁することから、森林整備に取り組みつつ市民への普及啓発を行い地域材利用拡大に取り組むことが重要である。



間伐



高性能林業機械



木製品開発業務

釧路市の取組：

私有林における間伐への支援及び造林関係事業への上乗せ助成

事業内容

- ・間伐に対する補助
- ・北海道が行う造林関係事業への上乗せ助成による森林所有者負担軽減

事業費

間伐2,179千円（全額譲与税）
 上乗せ助成22,139千円（全額譲与税）

実績

間伐2件10.64ha
 森林所有者のべ127名
 対象面積：植栽・下刈・間伐等のべ776.92ha・
 シカ柵延長14,994m

スキーム



釧路市の取組：

高性能林業機械の導入支援

事業内容

高性能林業機械導入に対する補助

事業費

8,750千円（全額譲与税）

実績

助成件数1件、フェラーバンチャ1台導入

スキーム



釧路市の取組：

地域材を活用した木製品開発業務

事業内容

地域材を活用した木製品開発業務

事業費

1,771千円（全額譲与税）

実績

試作品16点製作、イベントでの展示・アンケート調査など

スキーム



工夫・留意した点

- 譲与税の活用にあたっては、釧路森林資源活用円卓会議構成員の意見も踏まえながら事業設計を行った。
- 補助実施にあたっては、森林所有者等のニーズを踏まえた事業となるよう検討し事業設計を行った。
- 木製品開発業務については、木工に関する技術的知見を有する釧路根室圏産業技術振興センターへ委託し実施した。

その他の

- 令和3年度においては、主に以下の森林整備関係事業や木材利用を実施し、森林整備・木材利用関係事業を拡充し推進した。
 - ・私有林における間伐の支援のほか、北海道が行う造林関係事業への上乗せ補助等により、森林所有者等への森林整備支援を拡充した。
 - ・森林整備推進のため、林業事業者への高性能林業機械の導入に対する支援等を行った。
 - ・地域材を活用した木製品開発業務を通じて、地域材の利用拡大に向けた取組を行った。
- 令和4年度においても同様の事業を実施し、森林整備及び木材利用の取組を推進する。

【問い合わせ先】 釧路市産業振興部農林課／☎0154-31-2552

標茶町

○標茶町は、釧路湿原国立公園全体の約65%の面積を有しており、公園内及びその周辺の災害防止・景観や水質の保全・野生動植物の保護等を行い、釧路湿原の持つ遊水機能や多様な生物を保全していくことなどが求められているところ。



釧路湿原国立公園と
取得した森林の一部



取得した森林の人工林

標茶町の取組：

国立公園及びその周辺地域の私有林の取得

事業内容

国立公園及びその周辺地域の私有林の取得を行った。

事業費

98,181千円（うちR3譲与税5,332千円）

※譲与税は、町で管理する観光施設外に係る森林部分に充当

実績

443haの私有林を取得

スキーム



工夫・留意した点

- 町単独の予算では取得可能な森林の面積が限られていたが、森林環境譲与税を活用することで開発が危ぶまれている森林全体を取得することができた。

その他の

- 標茶町では、国立公園の占める割合が高く、公園内及びその周辺の災害防止・景観や水質の保全・野生動植物の保護等を行うために森林の整備等へ森林環境譲与税を活用する。
- 近年は湿原やその周辺地域の開発により釧路湿原本来の希少な自然が損なわれることが危ぶまれており、これらの一端を担うべく、標茶町において私有林の取得を行った。
- 令和4年度以降、取得した森林において間伐の実施や人工林を針広混交林化していくなど、森林の有する公益的機能の発揮に繋げることに努めていく。

【問い合わせ先】 標茶町農林課林政係／☎015-485-2111

森林公園の整備

浦幌町

○浦幌町では、森林環境税譲与税を活用して、「町民の理解と参画による森林づくり」「公益的機能を重視した森林づくり」「資源の循環利用による森林づくり」「森林を守り育む次代の人づくり」の視点から、森林づくりにつながる取組を推進する。



施行前



施行後



施行前



施行後

浦幌町の取組：

うらほろ森林公園内遊歩道補修工事

事業内容

うらほろ森林公園内の遊歩道及び木製階段の改修

実績

階段工一式

事業費

17,820千円（全額譲与税）

スキーム



浦幌町の取組：

うらほろ森林公園内河川親水護岸改修工事

事業内容

うらほろ森林公園内河川親水護岸の改修

実績

護岸工一式

事業費

9,185千円（全額譲与税）

スキーム



工夫・留意した点

○工事期間中もキャンプ場及び公園利用者が多数いる場合には、工事を休工するなど利用者の安全確保に努めた。

その他

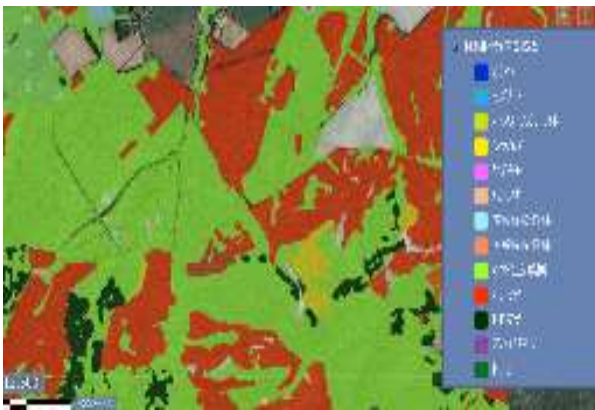
○浦幌町が管理する「うらほろ森林公園」内の遊歩道及び河川の護岸工事を行い利用者の安全確保と森林環境と触れ合える場所として利用の促進を目指すこととした。

【問い合わせ先】 浦幌町産業課／☎015-576-2181

森 林 整 備 促 進 事 業

帯広市

○帯広市は総面積の約40%を森林が占めており、戦後植林されたカラマツ、トドマツを主体とした人工林が利用期を迎えている。しかしながら、相続による世代交代や市外在住者の増加などで、所有森林の位置や状況を把握していない所有者が増えるとともに、整備が行き届いていない森林が増加している。このため、森林環境譲与税を財源として、所有者が現地に赴かなくても森林の状況が把握できるよう、森林情報の整備を実施した。



林相区分図



微地形強調図

帯広市の取組：

林相区分図の作成

事業内容

林相の現況を把握し、森林所有者への適切な施業提案を実施するため、林相区分図を作成した。

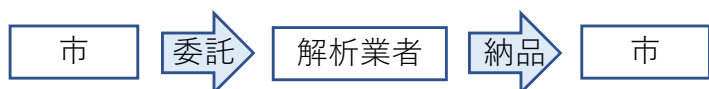
事業費

4,760千円（全額譲与税）

実績

5,256ha（調査対象面積）

スキーム



帯広市の取組：

森林基盤情報の整備

事業内容

市内山間部の地形、路網等、森林情報の現況を把握し、経営管理の支援に活用するため、森林基盤情報を整備した。

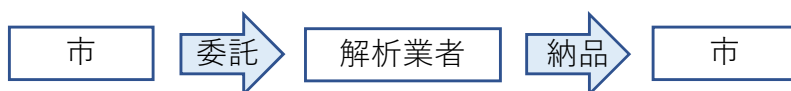
事業費

1,540千円（全額譲与税）

実績

52.03km²（調査対象区域）

スキーム



工夫・留意した点

- 林相区分図の作成にあたり、固定資産税担当部署が直近に撮影した航空写真のデータを活用し、経費の節減を図った。
- タブレット端末を1台導入し、現地調査時や森林所有者訪問時に森林情報をその場で確認できるようにした。

その他の

- 令和3年度においては、以下の取組を実施。
 - ・林相区分図の作成、森林基盤情報（微地形強調図、傾斜区分図、既存路網図等）
- 令和4年度においては、更に、森林資源の解析や森林健全性評価を進めていくこととしている。

【問い合わせ先】 帯広市農政部農政室農村振興課林業振興係／
☎0155-65-4173